

市民政党 草の根

<http://kusanone-iwakuni.net/>

第34号 2025年4月

発行 市民政党「草の根」
代表 井原勝介
住所 〒740-0017
山口県岩国市今津町
4-11-20
コーポ舁本 1階
電話 0827-21-9808
FAX 0827-21-9809

政治が動く

代表 井原勝介

大局的に

この原稿を書いている最中に、10万円支給問題を契機に政権が急速に不安定化しつつある。会報をお届けする頃にはどのような展開になっているのか。またまた総裁選をやって首のすげ替えをするつもりかもしれないが、それでは茶番にすぎない。自民党の体質は全く変わらず、国民の信頼を回復することは不可能。



この重大な局面にあたって野党は何をすべきか。個別の政策協議、部分連合などと目先のことばかり追求しないで、大局的な観点から連携すべき。そして、企業・団体献金禁止など金権政治と訣別する政策を共通公約として掲げ参院選を戦い、多数をとり、本当の政権交代を実現する、それが国民の信頼に応えること。

ただ、安全保障や原発政策、福祉や教育、そしてアメリカや中国との外交関係など国の根本的あり方に関して理念を同じくする政党がないことが不安。一部の政策を実現するために連携しても、結局、肝腎なところで分裂してしまう恐れがある。前回の失敗は二度と許されない。

トランプ流

力を背景にする一方的で強引なやり方が国際社会で通用するはずもない。国際法を無視した侵略をウクライナが受け入れることはできないし、カナダやヨーロッパではすでに報復関税も発動されている。アメリカ経済にも深刻な影響を与えることは必ずであり、早晚軌道修正を迫られるはず。

毅然として

気になるのは、日本のこと。ひたすらトランプの顔色を窺って、戦々恐々とするばかり、あまりにも情けない。軍事力の強化や日米の軍事一体化をいくら要求されても、憲法9条の制約を忘れてはならない。相手の理不尽な言動には毅然とした態度を取るべき。

日米同盟の強化が金科玉条のように叫ばれているが、あまりにも短絡的で視野が狭い。イギリスやフランス、カナダなどの伝統的な友好国をもあっさり切り捨てる。まして遠いアジアの国をやである。一朝にしてアメリカが変わらない保証はどこにもない。独自の外交が求められる所以である。

草の根大会のご案内

日時 5月25日(日) 14:00~16:00
場所 シンフォニア岩国大会議室(2階左手)
次第 琴の演奏
講演 広島被団協理事 田中 聡

日本被団協のノーベル平和賞の受賞を契機に、改めて核兵器についてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。どなたでもご自由にご参加下さい！



ノーベル平和賞授賞式
(日本被団協、田中熙巳代表委員)



人口減少対策

2月25日から18日間、県議会2月定例会がありました。今議会では、来年度予算7300億円余が審議され、深刻な人口減少を抱える山口県の少子化、人口流出対策などが提案されました。昨年の出生数が初めて7000人を割り、1年間に2万人弱が減り続けていて、このままでは県の人口が100万人を切る日も近いという深刻な事態です。そこで、若者への住宅ローン支援や中小企業従業員への所得支援など、また他県への流出防止や他県からの移住支援などにも予算が注ぎ込まれています。しかし、細かな政策はあるものの抜本的に集中支援がされていないので、県の本気度があまり見られず、私は新しい提案もしました。

漢字の読み間違

本会議で、私は議員の原稿読み間違いにハッとすることが多々あります。今回も「何卒よろしくお願ひします」という原稿を「なにそつよろしくお願ひします」と言った議員がいました。以前も「疾病」を「しつびょう」と言ったり、「遵守」を「そんしゅ」と読んだりしたこともありました。つまり、これらの原稿は自分自身で書いたのではなく、誰か他の人に書いてもらったものであり、議場での質問の様子を見ていると、読み間違いはしなくてもただ棒読みをしているだけなのが手に取るようにわかることがあります。そういえば、麻生元首相が「未曾有・みぞうゆう」「順風満帆・じゅんぷうまんぼ」「思惑・しわく」・・・などと言ったことで、笑いを誘っていたことがありましたね。

県議 井原すがこ

草の根議員レポート



チユード8から9クフスの地震)が今後30年以内に発生する確率は80%程度と言っています。予測できないタイミングで突然に発生する自然災害に対する備えについて考えてみました。

地震の専門家が西日本地域では南海トラフ地震(マグニ

チューブやカセットガスコンロなどの備えをしておく必要があることを知りました。そこで、今回は「自然災害に対する備え」について考えてみました。

自然災害への備え



本年2月1日の夕方から日曜日にかけて水分を含んだ重い雪が降り、多くの倒木が広範囲で電線を切断し、長時間の停電となりました。美和町では完全復旧までに1週間もかかった地域があり、電気器具や暖房器具が使えないために氷点下で体調を壊されたと聞きました。冬場の停電を想定して、石油ストーブやカセットガスコンロなどの備えをしておく必要があることを知りました。そこで、今回は「自然災害に対する備え」について考えてみました。

自然災害を防ぐことはできません。私たちの出来ることは、自らの命と暮らしを守るための早めの避難と備えです。

まず、第一にテレビやラジオ、インターネットを活用して、気象情報や防災情報をチェックし早めに避難することが大切です。次に、自宅周辺の避難場所や避難経路をあらかじめ確認しておくことも重要です。また、停電すると携帯電話が使えなくなり、その時の連絡方法や集合場所を決めておくことも必要です。さらに、非常持出として、食料、水、医療品、懐中電灯、携帯電話の充電器など必要なものをまとめてお

くことで、緊急時に素早く避難することが出来ます。特に、避難が出来なくなることも考えて、自宅でも最低3日間生活ができるようにしておくことも大切です。

最後に、防災は個人の努力だけでなく、地域全体で取り組むべき課題であり、地域の人たちと情報を共有し、助け合うことが大切です。私たち一人ひとりが意識を持ち、備えることで、災害に強い岩国市になると信じています。これからも、防災について考え、行動していきたいと思

市議 広中英明

おいでませ(1)

ご存じですか「鬢付け油」

岩国旧七町の一つ玖珂町に「本家 松がね」がある。有形文化財で岩国観光交流所になっている。暖簾をくぐって入ると江戸風情を感じる屋内になる。そこに岩国藩主が江戸に出向いたときに諸大名への贈答品として使われた歴史ある「鬢付け油」が展示されている。係の人は「2本ある在庫のうちの1本」というから貴重な一品。

鬢付け油は主に日本髪でおくれ毛を止め、髪の色を固めるのに用いた。展示品は松根油から作られた。錦帯橋から徒歩3分、足をお運びください。

(辰乃仔)
そこで一句
「髪結いについて
ゆきます鬢付けは」
(清流)



核廃絶に向けて

井原勝介

核兵器禁止条約

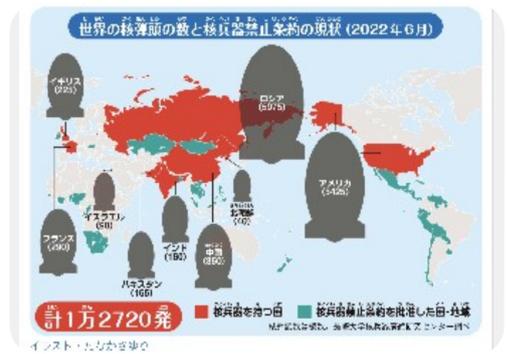
今年3月3日から5日間、ニューヨークで核兵器禁止条約の第3回締約国会議が開催され、日本被団協がノーベル平和賞を受賞した後の初めての重要な会議であり、日本からは被爆者やNGO、若者など多数が参加した。しかし、残念ながら、日本政府の姿は今年も見られなかった。その理由は、「核兵器の抑止力、いわゆる核の傘により安全が守られているから」という例の陳腐な議論である。「核保有国と非保有国との橋渡しをする」とするが、何もしない言い訳にすぎない。

(理念)
核兵器の使用は国際人道法に反し、いかなる場合にも核兵器が再び使用されないよう、核兵器を完全に廃絶する必要がある。そして、核軍備の縮小は倫理上必要なだけでなく、国の安全保障にも資する。

(第1条)
締約国は、いかなる場合にも、核兵器を開発し、実験し、製造し、取得しない。
核兵器を使用し、又は核兵器による威嚇を行わない。



締約国会議



核抑止力の矛盾

現在の核保有を前提にして、それ以上の拡散を防止することを目的とする「核拡散防止条約」などは、根本的に違い、全ての核保有を認めないところにその意義がある。

核保有国はソッポを向いているが、それは力を失いたくないという大国のエゴに過ぎない。軍備を強化すれば使いたくないし、安全ではなく逆に危険に

なることは歴史の証明するところである。核抑止力に頼る限りいつまで経っても人類絶滅の危機から抜け出すことはできない。現実にはウクライナ戦争をめぐってロシアによる核兵器使用の威嚇が繰り返されており、脅威は確実に高まっている。同時並行的に削減が行われ、最終的にこの地球上から全ての核兵器がなくなつて初めて私たちは本当の安全を得る。つまり、核廃絶こそが最も効果的な安全保障政策である。

世界をリードすべし

条約ができたときの世論調査によると、7割以上の人が条約に参加すべきと回答したという。その理由はほとんど「被爆国として当然のこと」、多くの日本人の共通の思いだろう。

「高校生平和大使」の高校生が締約国会議で訴えたこと「広島と長崎に投下された原爆によって、21万人以上の命が一瞬に



高校生平和大使

この条約を基盤にして、核兵器保有国、非保有国にかかわらず世界中の人々が連帯して一部の国のリーダーたちに対して勇気をもって核廃絶を迫ること、これ以外に現実的な方法は無い。そして、広島、長崎の数十万人の被爆者のことを思えば、核廃絶に向けて日本が世界をリードせずしてどこがするのかが。

草の根文芸

目覚むれば鶯初音福来たる

庭下駄に足とられ摘む露のとう

ツバメ飛ぶ小次郎像の剣の下

戸口黄連

芋 堅干

清流



市民政党 草の根

党費の納入について

「草の根」の活動は、みなさまのご支援により支えられています。

今年度（1月～12月）の党費の納入は、以下の要領でご協力よろしく願いいたします。

- ①お届けした振込み用紙で
- ②地域のお世話人へ
- ③直接事務所へ

党費 党員 1千円
特別党員 1万円

草の根事務所へご一報いただければこちらから出かけてまいります。

かつすけウラ話

洗面所

ある日、洗面所から「大変だ！蛇口が壊れた！」と大声が聞こえて、慌てて行ってみると蛇口のジャバラがだら～と下がっていました。

先端を持って本体に戻すと元通りになり、主人はびっくり！！これまでどうやって使っていたのか？こんなことも知らないの???

(すがこ記)



草の根ネット案内

草の根ネット

草の根ネット

草の根ネット

ちょっと



リクルート事件などを契機に1994年政党交付金ができた。昨年の政党交付金は、自民党160億円、立憲民主党68億円など。廃止される予定だった企業・団体献金も温存され、自民党の受領額は毎年20数億円に上る。

企業・団体献金

多額の献金を受け取れば、企業や断をするので紐付きのお金は受け取らない」と宣言すれば済むこと。「草の根」はそうしたがらみのある寄付は一切受け取っていない。

業界に配慮し、政治が金によって歪められる大きな原因になってきたが、それを改善するため、現在与野党からそれぞれ改正法案が国会に提出され議論が行われている。与党からは一定額以上の献金の透明化、野党案は献金自体を禁止するもの。果たして、どう決着するか。

本来は、政党が「常に国民全体の立場から公正に政策判断をするので紐付きのお金は受け取らない」と宣言すれば済むこと。

草の根コラム

今回から「草の根会報」の編集を担当することになりました。三代目になりますがいまだ編集ソフトの使い方がよくわからず、試行錯誤の連続の上、ようやく第一号を作りました。上げることができました。しかし、間配りのまずさ、読みづらい点などたくさんあると思います。お気づきがあれば、遠慮なく言ってください。

編集の交代

また、「草の根文芸」欄には、毎回みなさまからいただいた短歌や俳句、川柳などを適宜掲載しています。いつも、ご協力ありがとうございます。今回は初めての試みとして、草の根事務所のスタッフ自慢の俳句を載せてみました。

今後もこの欄を活用してみなさまの作品をご紹介しますので、どうぞ遠慮なくご投稿下さい。あなたの傑作をお待ちしています。